

地教連ニュース

2003-11-23

事務局 エルムアカデミー 〒142-0053 品川区中延 5-6-14-2f
03-3784-5676 Fax03-3784-5609 yazawa@es2.jp 矢沢：地教連事務局担当）
地教連ホームページ hppt://www.tamagaku.com/chikyoren

第19回 子育て文化協同全国交流会 千葉大会

とき：11月29日(土)と30日(日)

ところ：千葉大学 西千葉キャンパス (JR西千葉駅前)

1日目 夢のまち プログラム

12時30分開場 13時30分 第一部「コンサート」

14時45分 第二部「夢のまちフォーラム」に佐藤洋作さんが出演

2日目 分科会 10時より15時まで

第25分科会「地域の中での子どもの居場所」への御参加のお願い

子どもによる衝撃的な事件が相次いで発生しています。50年代までは、地域・家族の中での共同した生活を通して子育てができましたが、現在では「子ども期の喪失」の中でまた不況・国際化・情報化の中で、消費社会、核家族の進展に伴う家族の孤立化、地域における子育て機能低下での子育て不安、学校での競争主義の中で子どものストレスは増加しております。その様な社会現象の中で地域の中で居場所づくりをしている塾NPOの子育て団体サークル行政が集い、次世代が育つ課題を話してみませんか！

また、この分科会を通して子どもの居場所にネットワークづくりの出発点をもしたいと思えます。

地教連参加の「中野子ども空間」が中心となりますので、皆様の御参加をお願いいたします。

世話人 珊瑚 「中野子ども空間」

(同封のチラシをご参照下さい)

「学習障害を学ぶ」講演会のお知らせ

とき：1月25日(日) 午後1時30分から

ところ：(みたか)文化学習協同センター

JR中央線/京王井の頭線「吉祥寺」駅「公園口」より徒歩15分

講師：上野一彦先生(東京学芸大学副学長、日本LD教育学会会長)

学芸大の上野先生を招いてLDやADHDなどの障害についての学習講演会を開催いたします。主催はNPO文化学習協同ネットワークですが地教連もこの会を後援し、研究会と位置づけます。ぜひ、ご参加下さい。

参考文献 『LD(学習障害)とADHD(注意欠陥多動性障害)』 上野一彦著

講談社プラスアルファ新書 ¥780

暉峻さんの講演会とシンポジウムの報告



不登校を考える講演会とシンポジウムは「不登校からの旅立ち」として11月9日、岐阜県民文化センター未来会館で講師に暉峻淑子さん、コーディネーターに佐藤洋作さんを招いて150名参加でおこなわれました。地教連関係者も十数名が参加しました。詳細は次号にて発表します。

地教連交流会の報告

集会終了後、会場をべんぼすたに移して地教連の交流会をおこないました。参加者は岐阜の中川さん、梅本さん、鳥本さんと常任の佐藤、珊瑚、矢沢の六名。食事を取りながら、本集会の感想や各塾の現状や子どもたちの様子などをざっくばらんに出し合いました。

話題の中心になったのは、いわゆる「気になる子」が各塾とも増えていることでした。「今やったことを復習してもすぐ忘れてしまう子どもがいて手を焼いている」(梅本)「ADHD・LDの相談が増えている」(佐藤)「ADHDらしい子どもを4人抱えているので、授業に工夫を加えている」(珊瑚)などといった話が出されました。また、それらに対して「親を巻き込んだ教育を中心に据えた塾づくりしている」(鳥本)「障害児教育専門家の父母の協力も得て、学習会を開く」(中川)「ADHDの子どもを個別から小さい集団へ入れて成果が上がり始めている」(矢沢)などの意見も交換されました。彼ら特別なニーズを持った子どもたちへの教育は、地教連の研究テーマの大きな部分を占めるということの認識を参加者が持ちました。

また、各塾が授業の面でも様々な工夫ある取り組みを進めていることも話し合われました。「岐阜新聞に投書をした」(中川)「NPOとして総合学習に取り組み、校内で小学生に案内を配布している」(佐藤)「国語授業を全面に読書の時間とし、子どもの読書が定着してきた」(矢沢)「高校生は勉強部屋として24時間塾を開放して活用させている」(鳥本)などが出されました。

これからも、相互にそして率直に交流できる場をつくっていくことで一致しました。特に、インターネットのホームページなどの活用をはかっていこうということになりました。



(11/8 前日べんぼすたでの交流会の様子)

会費納入のお願い

地教連では会費が財源の大部分を占めています。ご協力をよろしくお願いします。

会費の払込みは年度切り替えではなく、払込みから1年間を有効とさせていただきます。

振込先：郵便局の総合口座 記号10030 口座番号64626421 地域教育連絡協議会

郵便局の総合口座をお持ちの方はお近くの自動振り込み機械から手数料130円で振り込めます。

団体会費 10000円（専任職員が2人以上いる団体に適用）

個人会費 4000円

賛助会費 2000円

学生賛助会員 1000円

会費の納入のない方は、ニュース等の配付を停止させていただきます。

引き続き 地教連会員アンケートご協力のお願い

会員全体の意見を集約するためにも、引き続きこのアンケートの回収に取り組みます。

30団体・個人以上の集約をする目標たてて、常任委員会では取り組んでまいります。

大変お忙しいこととは存じますが、ご協力を重ねてお願いいたします。

2003地教連会員アンケート

本アンケートはすべて記入形式です。なお、欄が小さい場合は別紙での回答でもかまいません。

貴塾・貴団体名 _____

代表者もしくは担当者名 _____ tel _____ fax _____

メールアドレス _____ ホームページURL _____

地教連では情報交換および情報発信を今後とも続けていくつもりですが、どのような情報を求めていますか。（例：いわゆる教育情勢；教育改革の方向性や民間の動き、NPOに関する情報、塾に関する教科や内容や経営などの情報）

貴団体は地域・行政との結びつきはありますか？

貴団体と学校との結びつきはありますか？

地教連の今後の活動にどのようなものを求めていますか？

（例：教科研究活動、実践交流活動、経営交流活動、教育情勢研究活動など）

参加しやすい企画および話の聞きたい講師などがいらっしゃいましたらご記入ください。（なお、すぐに実現できなくとも、今後の例会などの参考にさせていただきます。

その他ありましたご自由にお書き下さい。

お忙しいなか、大変ありがとうございました。送付先は以下です。

〒142-0053 品川区中延 5-6-14-2 F エルムアカデミー

fax：03-3784-5609 mail：yazawa@es2.jp

